

文化財保管・収蔵の状況

○古文書

市内の旧家などから寄贈を受けた江戸時代から近現代にかけての古文書類

(古い写真なども含む)

⇒総数は不明。

郷土資料室で保管してきたものを現在、市史編さん事業の中で整理、目録作成中。

編さん事業にともなって、新たに寄贈を受けているものもある。

○民具類

市内の旧家から寄贈を受けた江戸時代から近現代の農具など、生業に関わる古い道具類

⇒点数、約 1,500 点。

旧第四小学校にて保管、3 教室分。

一部を民家園の体験学習で活用している。

○考古資料

小田急線の高架化工事や駅前再開発時におこなわれた遺跡の調査、その後、現在にいたるまでのあいだに市内の開発などに伴い行われた発掘調査で出土した土器や石器などの遺物類

⇒収納箱約 1,500 箱。

(これとは別に復元された土器類が、中量棚約 6 個分ある)

旧第四小学校にて保管、2 教室分。

一部を小学校への出前授業。

毎年秋に行っている公民館 2 階展示コーナーでの文化財展示に使用。